



### 地域おこし協力隊とは…

町が意欲ある都市住民を事とに受け入れ委嘱し、地域の生活支援といった「地域協力活動」に従事してもらいながら、地域活性化を目指すものです。

## 地域おこし協力隊通信

— 第2回 —

こんにちは。1月15日より地域おこし協力隊として白鷹町に移住してきた遠藤真弓です。福島県生まれ、神奈川県育ちの35歳です。こちらに来る前は長野県の八ヶ岳の山小屋で働いていました。でも、登山は苦手です…。ただ、自然は大好きです！  
白鷹に移住して1か月半が過ぎました。周りの方々も優しく、いろいろな面でサポートしてくださり、とてもありがたく思っています。水もおいしいし、空気もきれいだし、ちよっと顔を上げれば広い空と山々

## 「こんにちは、地域おこし協力隊の遠藤真弓です。」

が素敵です。  
地域おこし協力隊の仕事としては、平成26年より動き出した「しらたか木の駅プロジェクト」という取り組みのお手伝いが主になります。ただいま勉強中です。山のこと、森のこと、白鷹のこと…。しらたか木の駅プロジェクト以外でも町民の皆さんと関わって、この白鷹町を守って盛り上げていけたらと思っています。  
最初のうちは分からないことだらけだと思いますが、とにかくなんでも声をかけていただけたら嬉しいです。可能な限り飛んでいきます。まだまだ行動範囲が狭く、お会いできていない方のほうが圧倒的に多いですが、より多くの町民の皆さんとお会いして、地域おこし協力隊のこと、遠藤真弓のことを知ってもらおうのが当面の目標です。基本的に木の駅事務所に常駐しておりますので、お暇なときはお立ち寄りください。  
それでは、どうぞよろしくお願ひします。



## 東京で白鷹の暮らしをPR —ヤマガタユアターンサミット 2016—



1. 東京に「山形が好き」という人だけの空間ができた  
2. 参加者に対して熱心に話をする宮部さん（左から2人目）



2  
このサミットは、県外に住む山形県出身の方が「山形との関わり方を考える」ことをコンセプトにしたもので、当日は「山形が好きの人」約100人が参加。「山形の組織で働くこと」及び「地域で新しいことを始めること」をテーマとしたトークセッションと、グループごとにゲストスピーカーと自由に話し合う座談会が行われました。福岡県からIターン（※）で白鷹町に新規就農した宮部さんは、移住のきっかけや自身の白鷹での体験を交えながら話をすると、参加者は山形県での仕事や暮らしに對し、さらに興味を深めている様子でした。  
（※）Iターン…都心部で生まれ育った人が地方に移住すること